

目 次

自然科学

研究課題に対する審査の問題点

- 18トリソミー生存例に対する審査者の反応を例として — 郷右近 歩 (1— 3)
- 100m 走行時の速度データに対する非線形回帰モデルについて 萩原 克幸・杉田正明 (5— 17)
- [1, 2) 上のベータ変換に基づく非再帰型 64 ビット擬似乱数の構成 谷口 礼偉 (19— 25)
- アーカイブデータを用いた恒星の表面温度推定用教材の開発 伊藤 信成 (27— 33)
- 古代ギリシアにおける音楽的エートス論の形成 上垣 渉・根津知佳子 (35— 62)
- 教室端末での Hyper-V の活用方法 山守 一徳・鷺尾 敦 (63— 72)

人文科学

- 学年別漢字配当表の字種選定をめぐって — 頻度下位10字種を中心に — 丹保 健一 (73— 90)
- 「末の松山」考 — 「波が越す」という措辞をめぐって — 松本 昭彦 (92—100)
- 桃澤如水の蕭白画博搜 山口 泰弘 (102—116)

社会科学

三重大学のパーソナルファイナンスに関する実証的研究

- 質問紙調査の分析 — 山路 紀子・乗本 秀樹・吉本 敏子 (117—130)
- 運動部活動が高校生のアイデンティティに与える影響 大隈 節子・清水 一巳 (131—140)

教育科学

- 子育て支援論の構築化に関する研究 — 保育者養成教育の試案 — 須永 進 (141—148)
- 子どもはなぜサンタクロースを信じ、やがて信じなくなるのか？
— 大学生による回想報告をもとに — 富田 昌平 (149—158)
- 「生きる力」論批判ノート (その2) 佐藤 年明 (159—173)
- 国の累積債務1,000兆円時代における中学校での税教育 山根 栄次 (175—192)
- 通常学級における学習困難のある児童への支援に関する調査 茶本ゆかり・菊池 紀彦 (193—205)
- 青年の「恋愛離れ」における社会的閉塞感の影響 南 学 (207—213)

かかわり手の行動分析に基づく重症心身障害児のコミュニケーションの特徴	濱田 匠・菊池 紀彦 (215-222)
体育におけるエピソード記述の描き方 ～学びの質的向上を目指して～	加納 岳拓・岡野 昇・伊藤 暢浩 (223-231)
小学校家庭科における調理技術の向上を目指した授業の開発	神谷 麗奈・久世真理子・中村由紀子・平島 円・磯部 由香 (233-239)
中学校技術・家庭科における分野統合に関する研究	魚住 明生・佐藤亜由美 (241-248)
高校生の学校生活におけるこだわりが学校への適応感に及ぼす影響	廣崎 陽・瀬戸美奈子 (249-262)
教師の大切にしていることと子どもへの関わりとの関連	酒井 啓輔・瀬戸美奈子 (263-269)
協同学習におけるメタ認知を促す教授方略が他者との関わりの変化に及ぼす効果	高垣マユミ・中西 良文・田爪 宏二 (271-278)
方略保有感、コスト、有効性が学習方略の使用に与える影響	梅本 貴豊・矢田 尚也・中西 良文 (279-284)
クリティカルシンキング志向性は抑うつを導くのか	磯和壮太郎・南 学 (285-295)
通常学級における「気になる子ども」のアセスメントの視点	瀬戸美奈子 (297-301)
「別府の算術」に関する一考察 — 河野三五郎の算術教育 —	田中 伸明 (303-314)
ゴルフ練習場に通うゴルフスクール生の実態調査	米川 直樹・鶴原 清志・坪田 暢允・吉村 篤司 吉里 秀雄・坂田 利弘・小山 哲 (315-325)
運動部活動におけるスポーツ経験がライフスキルの獲得に与える影響 — 青年期におけるゴルフ競技者を対象として —	島本 好平・米川 直樹 (327-333)
協同学習場面における社会的動機づけ尺度作成の試み	中西 良文・中島 誠・大道 一弘・益川 優子 守山紗弥加・下村 智子・長濱 文与・中山留美子 (335-341)
「魂への配慮」と「こころのケア」のあいだ — 3・11 後の教育現場における試みから —	伊藤 敏子 (343-353)
インドネシアと日本の小学校における英語教育：早期のほうがよいのか	荒尾 浩子 (355-363)
「専門職の学習共同体」としての学校に関する基礎的研究 (2) — ツールの活用をめぐって —	織田 泰幸 (365-379)